

# UVA放射照度計

$\mu$ V出力 LPUVA02  
 DC4~20mA出力 LPUVA02AC  
 DC0~1V出力 LPUVA02AV



## ■テクニカルデータ

代表感度 ※注	LPUVA02	70~200 $\mu$ V/(W/m <sup>2</sup> )
出力設定	LPUVA02AC	4~20mA(0~200W/m <sup>2</sup> )
	LPUVA02AV	0~1V/0~5V/0~10V(0~200W/m <sup>2</sup> )
応答時間		<0.5秒(95%)
インピーダンス		3k $\Omega$
測定範囲		0~200W/m <sup>2</sup>
視角		2 $\pi$ sr
スペクトル範囲		327~384nm(1/2)
		312~393nm(1/10)
		305~400nm(1/100)
動作温度		-40~+80 $^{\circ}$ C
余弦応答		<8%(0~80 $^{\circ}$ の間)
長期非安定性(1年)		< $\pm$ 3%
非直線性		<1%
温度影響		<0.1%/ $^{\circ}$ C
重量		0.90kg
外形寸法		Fig.3に示す通り

※注: 記載の感度は“代表感度”であり、UVA計の出力には個体差があります。

## ■動作原理

LPUVA02は半導体センサをベースに作られており、フィルターによってUVA測定に必要なスペクトルを得ています。Fig.1に代表スペクトルレスポンスを示します。ごみやほこりからディフューザを保護するため、LPUVA02は直径50mmの透明ガラスドームを備えています。その独特な形状のPTFE製ディフューザにより余弦則応答と良好なレスポンスを実現しています。Fig.2に余弦誤差と入射角の関係を示します。LPUVA02はその良好な余弦則応答により、太陽のどのような天頂角でも使用が可能です。

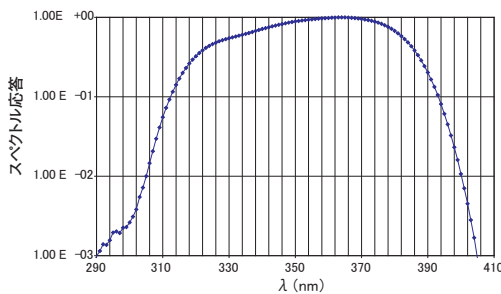


Fig.1  
代表スペクトル応答

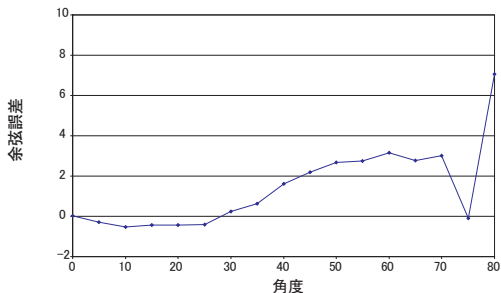


Fig.2  
余弦誤差と入射角

## ■高感度 $\mu$ V、DC4~20mA、0~1V出力、水準器、遮蔽板付

UVA放射照度計LPUVA02シリーズは面に入射する広帯域のUVA放射照度(W/m<sup>2</sup>)を測定します。測定される放射照度は直達太陽放射と散乱放射の合計です。LPUVA02は閉じられた屋内のUVA放射照度を測定することも可能です。

## ■ご注文コード

- LPUVA02** 放射照度計(315~400nm)、 $\mu$ V出力、遮蔽ディスクLPSP1、シリカゲルカートリッジ、気泡水準器、4極M12コネクタ付属、ISO9001校正成績書付。ケーブルは別途。
- LPUVA02AC** 放射照度計(315~400nm)、DC4~20mA電流出力、付属品・校正成績書はLPUVA02に同じ。供給電源DC10~30V。ケーブルは別途。
- LPUVA02AV** 放射照度計(315~400nm)、DC0~1V/0~5V/0~10V出力(注文時要指定)、付属品・校正成績書はLPUVA02に同じ。供給電源DC10~30V(0~10V出力はDC15~30V)。ケーブルは別途。
- LPS1** 放射照度計固定用ブラケット、最大 $\phi$ 50mmマスト用
- LPSP1** 遮蔽ディスク、材質“BASF Luran S777K”
- LPSG** 除湿シリカゲル用カートリッジ、Oリング付
- LPG** シリカゲル5個パック
- LPRING02** 水準調整器および放射照度計LPUVA02傾斜取付用可調ホルダー付ベース(LPUVA02以外は不適)
- LPS6** LPUVA02取付用キット: 高さ1mマスト(LPS6.05)、ベース(LPS6.04)、目盛付支持プレート(LPS6.01)、HD9007またはHD32MTT.03C用ブラケット(HD9007 T29.1)、放射照度計用ブラケット(LPS6.03)
- CPM12 AA4.2** 4極M12コネクタ付耐UVケーブル、ケーブルL=2m
- CPM12 AA4.5** 4極M12コネクタ付耐UVケーブル、ケーブルL=5m
- CPM12 AA4.10** 4極M12コネクタ付耐UVケーブル、ケーブルL=10m
- ※ LPUVA02には、出力信号の増幅・変換器に、微電圧信号増幅変換器HD978TR3/4/5/6が使用できます。詳細はP112をご参照下さい。

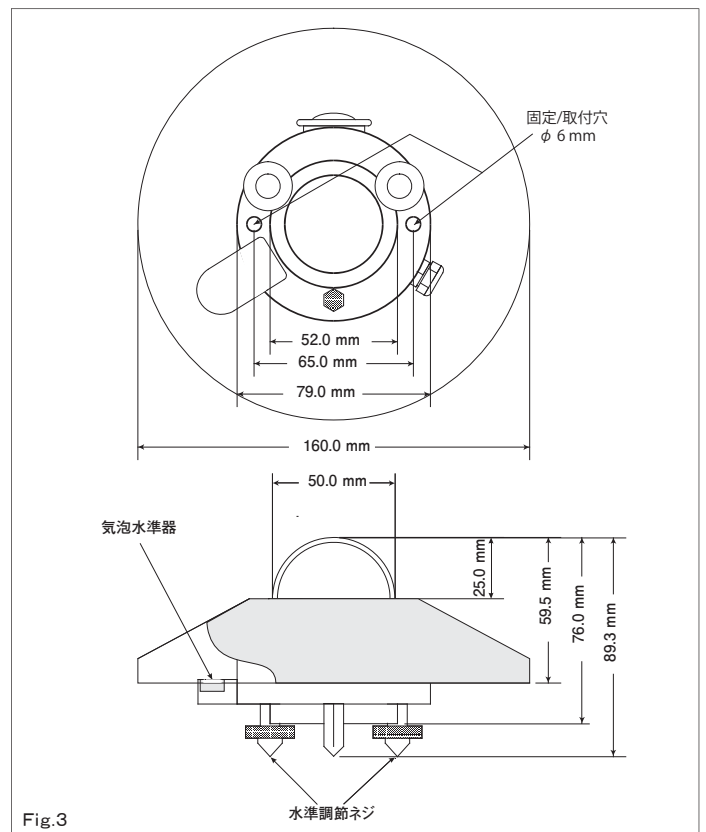


Fig.3